

立教185年  
活動方針

・初席者 66名  
・中席者280名

「おやさまのひながたとは、  
ようぼくを育て増やすこと」

末代の道に向い、素直にひながたの道をたどろう

### ◇年頭会議に代わる会議終了◇

56名の教会長夫妻が参加し、有意義な会議となった。

### ◇昇殿参拝◇

6名の代表が出席させて頂いた。

本部7月月次祭から、東、西、北礼拝場での一般参拝者の昇殿参拝が可能になりました。祭典当日は、午前8時から昇殿できます。詳しくは天理時報7月6日号を御覧下さい。



大教会のHPがご覧になれます！  
月報には掲載されない写真もいっぱいです！  
ぜひ一度ご覧下さい♪



発行所  
天理教網走大教会  
布教部出版広報掛  
〒093-0073  
網走市北3条西6丁目  
TEL 0152-43-2227  
FAX 0152-44-2227

### 大教会六月月次祭

大教会6月の月次祭は、12日午前9時30分から大教会長祭主のもと、執行された。

大教会長は祭文で、親神様の御守護に御礼申し上げた後、「私共を始め、教会長・ようぼく一同は、世界中の人間がお互いの思いを尊重し合い、

### 神殿講話

### 小松篤志 准役員



神殿講話全文

小松家の信仰は私の祖母にあたります、成ヶ澤センが誠陽分教会初代会長、澤田近先生ののをいかけによりお道に入信をしたのが信仰の始まりと聞いております。  
母が私を妊娠している時に妊娠中毒症という病気にかかり、母子ともに命の危険がありますと担当医の先生から言われ、祖母に相談をしたとこ

慎みの心をもって親の御心に近づかせて頂けるよう、まずは身近な所より一歩一歩着実に、にをいかけ・おたすけに邁進させて頂く所存でございます。」と奏上した。  
その後座りづとめ・十二下りのてをどりが勤められ、参拝者は共に勇んでみかぐらうたを唱和した。

れましたので柵を超えて仲間と一緒に入りました。その時走ってきた新幹線の運転士さんに見つかりまして次の新幹線が上り下り共に現場で止まり、全員乗務員につかまりました。その日は直ぐに帰れましたが、翌日新幹線を見た行った仲間の親も呼ばれて、小田原の鉄道保安室に行きました。本来なら上り下りの両方の新幹線を10分ぐらい止めてしまったので賠償金がある。当時で5千万円と保安室の方に言われましたが、今回は子供がやった事だからと許して頂き、もう絶対に入らないと言う約束で帰らせて頂きました。この事は翌日の全国版の新聞に載ったと聞いております。  
この事情を受けて母が直ぐに祖母に相談をしましたら、祖母が当時の大教会長夫人三幣昌子奥様に相談をしたそうです。その後、昌子奥様から手紙が来まして北海道に来ませんかと書いてありました。その手紙を読んだ母は昌子奥様の温かい親心にすっかり感激をして道一条を決心したと聞かせて頂きました。家族で



### 年頭会議に代わる会議終了

6月11日・12日、延期になっていた年頭会議に代わる会議が開催された。

最初に大教会長からお話があり、その後、女満別会長夫妻が司会となり、楽しいウォーミングアップ・全体ミーティング・班別ミーティングが行われ、内容の濃い時間となった。2日目は初日の班別ミーティングで話し合っ

た内容を発表しあった。教祖140年祭に向けて、各教会がどのようなスタートを切ったらよいかを考える良い会議となった。

北海道へ引越しをしようと... 北見日赤病気に引き見... 手術が必要と言われた... 引越しをしなければならなかった... 家族は昭和56年3月の末に北海道の地へ来させて頂いた。

おふでさきに、どのよふなむつかしきなるやまいでも しんぢつなるのいきでたすける (六一一〇八) 月日よりしんぢつ心みさためて いかなしゆこふもするとをも多よ (六一一〇九)

とのお言葉がありますように、どんなに難しいという重い病気で母の定めた心の真実を親神様・教祖が受け取って下されたのだと思わせて頂きました。

私は16歳の時に釧路にある釧路高等理美容学校に入学を

し、1年間誠陽分教会に住み込みをさせて頂きながら学校へ通わせて頂きました。卒業後大教会の青年として入らせて頂きまして、19歳の時に修養科へ入らせて頂き、そのま

ま2ヶ月隊へ入隊、前期講習を受講させて頂き、半年間おぢばで伏せ込ませて頂きました。

青年をさせて頂いていたある日、大教会長様から父が直腸がんの病に倒れて病院の先生から命の宣告をされて憩いの家に入院をしているので元気なうちに顔を見に行つて来いと言われて翌日直ぐにおぢばへ帰らせて頂きました。母と弟は詰所で勤務をしておりましたので、妹の昌世も知らせを聞きつけて合流をして家族が全員揃いました。私は毎

した。そして手術が始まり2、3時間がたつても終わらずに最終的には14時間の大手術になりました。手術後に先生が私達に、野球ボールぐらいの大きさの癌が腐っていたのを見せて下さり、その大きさにビックリいたしました。その後大教会へ無事に手術が終了させて頂きましたと報告をさせて頂きましたところ、月次祭後におつとめ奉仕者の先生方を始め総勢で父のお願いごとめをして下さったと聞かせて頂き、大変驚きました。皆様方の真実の願いで父が助けて頂いた事を感謝してお礼をさせて頂きました。

平成15年に母が大教会長様から網陽分教会の三代会長の命を頂き二代会長澤田忠喜先生の後をたくされたのであります。会長に就任をして何年かがたつた頃に、母が若い頃に腎臓病を患っていたのでその腎臓病が発症をして約1ヶ月ぐらい入院をよぎなくされました。その時は透析を

まのがれたのですが、2年後ぐらいに透析をしなければならぬ状態になり、週

に3回、1日おきに透析をさせて頂く事になりました。8年間母は透析をさせて頂きながら会長のつとめをさせて頂いておりましたが、ある時血圧が低くなり始め、血圧が低いと透析が長く出来なくなるそうだったので4時間の透析が必要なのですが、血圧が低いので長い時間が出来ず透析をする時間が短くなりまし

た。最後には透析が出来なくなりましてその数日後に出直したのであります。

三代会長の出直しにより、網陽の後継者問題で私自身もなかなか決めかねておりましたが、先輩先生方や網陽役員や兄弟と相談をさせて頂き、お話をいろいろ聞かせて頂いた上で何がなんでもさせて頂こうと思ひ、届かぬ私が四代会長としてつとめさせて頂く事になりました。母の出直しから1年遅れて4月18日に教祖殿で真柱様より教会長の理のお許しを無事に頂く事が出来ました。

時の経つのは早いもので、私が教会長にならせて頂いて4年が経ちましたが、そのうちの半分は今でも世界中で騒

がれておりますコロナウイルスによる感染で、本部の行事や教区、支部などの行事も出来なくなりましたが、今は徐々にあります。本部での式典や大教会や支部などの行事も少しづつ緩和されて出来るようになって来ました。

昨年私は大教会長様よりもつたたくも准役員のご命を頂き辞命を頂きました。今でも私が准役員としてつとめられるかすごく心配ではあります。先ず先輩役員先生のご指導を頂きながらつとめてまいりたいと思わせて頂いております。

「いんねんならばたさにやならん」とのお言葉があります。が、私自身の事情がきっかけで親神様・教祖よりお引き寄せ頂き、又、父と母がお道を真剣に通って頂いたお陰で、私の今日の日があると思わせて頂きます。

来年には教祖140年祭3年千日を迎えさせて頂きます。少しでも親神様・教祖に事情、身上を助けて頂いたご恩を返させて頂き教祖に喜んで頂けるようつとめさせて頂きたいと思ひます。

### 修養科を終えて



徳元分教会所属 近藤 洋子

#### ○入信の動機についてお聞かせ下さい

3年前、息子を交通事故で亡くしたことから精神的な身上を頂き、仕事もやめて自殺願望を抱くようになりました。友人の大野美恵子さんからおさづけを取り次いで頂く、何故か涙が出て涙が出て止まらなくなり、おやさまに導かれていたような気持ちになりました。このことをきっかけに教会に足を運ぶようになりました。

#### ○修養科志願の動機、また、修養科生活はどうでしたか

再就職しましたが身上のために続かず、今年二月の始め頃、いよいよ、自殺したいの思いが高まり、生きる意味を失ってしまいました。その時、大教会へひのきし

んに行っていた清宮美香さんを通して、大教会の奥様と電話でお話させて頂く機会があり、奥様は「大教会に来なさい」と言っておりました。私は何か、救われたような気になり、大教会に行くなら、まず、修養科に行かせて頂くことを決めました。

修養科は楽しかったです。気持ち安定してきました。クラスの皆の支えがあつて乗り越えてこれたと思ひます。

6月15日、4月におぢば帰りをして下さった札幌読書会の方々が、天理教の歴史を講義して欲しいとの依頼があり、2時間程、一緒に勉強させて頂いた。質疑応答の時間では、一般の方ならではの素朴な質問が多く、大変勉強になったと喜んで頂いた。またおぢばにも行きたいと言ってもらったので、実現できるように努めたい。

講師 桐谷善広



### 札幌読書会 天理教史勉強会

人の御守護	
初 席	中 席
6月	
0 席	9 席
累計	
7 席	34 席



**こかん様に続く会**  
 8月14日(日) 10時から、大教会にて、こかん様に続く会をさせて頂きます。対象は16歳〜29歳までの婦人会・女子青年で、内容はひのきしん・こかん様のお話・お楽しみ行事となっております♪  
 対象者がいらつしやいます。対らお声がけお願い致します。

**昇殿参拝**  
 ◎出直  
 ▼直轄教人・室本トシ江様は6月9日出直された。享年99歳。  
 ▼直轄ようぼく・関野洋子様は6月22日出直された。享年72歳。  
 ▼美幌分教会教人・金野亮子様は6月26日出直された。享年83歳。葬儀は6月28日みたまうつしが、翌29日告別式が美幌分教会にて清水信喜・美幌分教会会長斎主のもと執行された。

**6月人のご守護**  
 ○中席者 (3名)  
 誠 綱 田 中 宏 子  
 矢 代 順 子  
 菊 池 ゆかこ  
 ○おまもり下附願 (1名)  
 ○をびや許し願 (1名)  
**育英会寄付者**  
 小山若菜様 (出産)  
 勇走分教会 (創立八十周年記念祭)  
**大教会6月の動き**  
 1日 役員会  
 5日 会長、おぢばがえり。  
 縦の伝道日

6日 会長、教人資格講習会講師(9日まで)。  
 7日 役員会  
 8日 お話し会  
 9日 支部役員会会場  
 10日 役員会  
 11日 年頭会議に代わる会議(12日まで)  
 12日 月次祭。連絡会。役員会  
 15日 役員会  
 17日 会長、直轄信者まわり(19日まで)。支部婦人会例会会場  
 19日 縦の伝道日  
 23日 詰所23会  
 24日 会長、本部神殿奉仕つとめる  
 25日 会長、本部災救隊会議出席。細木善信役員、本部神殿奉仕つとめる  
 26日 本部月次祭遙拝。会長、災救隊訓練参加(27日まで)。結城和広役員、本部神殿奉仕つとめる  
 27日 会長、かなめ会出席  
 28日 会長、一期講師各期講習会講師  
 30日 みそか会。直轄世話人会

教会名	初席	中席	ようぼく	三日講	修卒	教人	婦参者		教会名	初席	中席	ようぼく	三日講	修卒	教人	婦参者	
							当月	累計								教会名	初席
直轄	1	4					9	58	誠央	1						1	7
美幌								0	常道								1
女満別							6	25	徳道	2							13
斜里							1	1	満金								0
釧路								0	網安								1
武厚							1	1	オホーツク								0
常呂								9	網徳								0
旭網							1	6	栗沢								0
御料								4	徳元	3				1			20
東藻								0	網盛								2
陽光							1	19	網新	1	1					2	6
呼人		1	1				2	10	網葉								1
誠陽							1	6	網陽								2
網栄								0	誠網	2	18	1		1		6	41
實東							1	12	網次								1
東網	2	6						4	網昇							1	7
宗稚								5	勇走								4
初席	7	9	34				3		修卒							2	
中席									教人								
ようぼく									婦参者								
三日講									当月								
修卒									成果								
教人									当月								
婦参者									成果								
当月									32								266
成果																	

神職講話	賛 者	指図方	扨者	祭主	祭 員
小松	清水遠 遠 岩 三澤藤 藤 原	桐 谷	青 山	大 教 会 長	
篤志	知春浩 明 幸雄二 広 繁	厚 平	正 博 人		
胡三	小す太拍ち 味琴 りが 子ん 笛 弓線 鼓ね 鼓木 ぼ	地 方	てをどり		役 割
丸藤山	栗藤細桐澤大 山井崎 山木谷田山	青瀬三 三川幣	藤林大 丸新大 のり篤 道子 入 徳子 正 徳 正 徳	祭 主	
澤大栗	遠遠清在小 桐 田藤水原林谷	田瀬三 三川幣	細三三 吉菅小 木澤谷 村原松 由美し 光明篤 朱美子 正宏志	前 半	
裕泰聖	眞明信道恒善 明広喜彌彦広	定教 繁 自 志		後 半	
三幣美	岩増伊眞清新 原田東壁水川	三安奥 澤田野	菅三瀬 遠藤永 幣原幣 川藤井	後 半	
子直子	裕徳正知正 繁一明教幸美	春光直 雄 治	真有祐 浩広康 弓子志 二 幸		